

平成26年度 第4回 生乳検査外部精度管理調査(成分) 結果

1. 標準値は全参加施設の測定値にスミルノフ・グラブス検定(参考資料③)を実施し、データクリーニングした後の平均値とした。^{注)}

※生乳検査精度管理認証制度の認証基準値について

都府県の事業所における認証基準値は都府県平均、北海道の事業所における認証基準値はマスターマシン測定値となっておりますので、詳細については一般社団法人Jミルクのホームページをご確認下さい。

(<http://www.j-milk.jp/gyokai/seidokanri/beroh000000coxm.html>)

注) 平均値は期日までに報告のあったデータより算出した。

2. 標準法測定値(参考値)は公益財団法人日本乳業技術協会により以下の方法にて測定した。
- | | | | |
|--------|-----------|--------|------------|
| 乳脂肪分 | ゲルベル法 | 全乳固形分 | 常圧乾燥法 |
| たんぱく質分 | ケルダール法 | 無脂乳固形分 | 全乳固形分-乳脂肪分 |
| 乳糖分 | レイン・エイノン法 | | |

3. 乳技協FT120測定値(参考値)は以下の検量線にて測定した。

測定値①: 基本検量線“MILK”に対し、平成27年1月の校正乳を使用して新規に校正した検量線

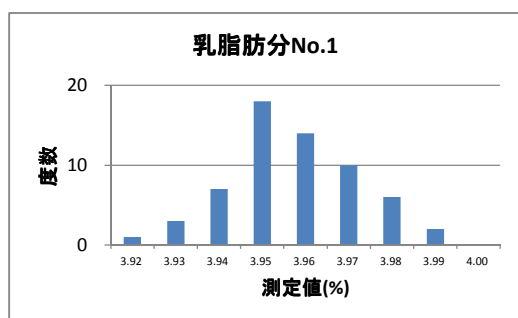
測定値②: 平成25年10月から平成26年9月までの1年分のデータを用いて積上げ校正を行った検量線

(%)

| 区分 | 試料 | 乳脂肪分 | たんぱく質分 | 乳糖分 | 全乳固形分 | 無脂乳固形分 |
|---------------------------|----|------|--------|------|-------|--------|
| 平均値 (標準値) | 1 | 3.72 | 3.47 | 4.52 | 12.70 | 8.98 |
| | 2 | 3.83 | 3.36 | 4.53 | 12.71 | 8.88 |
| | 3 | 3.96 | 3.33 | 4.58 | 12.86 | 8.91 |
| 標準法 測定値 (参考値) | 1 | 3.71 | 3.45 | 4.53 | 12.66 | 8.95 |
| | 2 | 3.81 | 3.33 | 4.55 | 12.68 | 8.87 |
| | 3 | 3.96 | 3.32 | 4.59 | 12.84 | 8.88 |
| 乳技協 FT120測定値① (参考値) | 1 | 3.70 | 3.47 | 4.53 | 12.70 | 8.99 |
| | 2 | 3.81 | 3.36 | 4.54 | 12.69 | 8.87 |
| | 3 | 3.95 | 3.34 | 4.59 | 12.84 | 8.91 |
| 乳技協 FT120測定値② (参考値) | 1 | 3.70 | 3.46 | 4.52 | 12.66 | 8.96 |
| | 2 | 3.82 | 3.35 | 4.53 | 12.67 | 8.86 |
| | 3 | 3.95 | 3.33 | 4.60 | 12.84 | 8.91 |

4. ヒストグラムは全測定値の度数分布をグラフ化したものである。

5. 凡例



6. グラフは各参加施設の測定値と標準値との差(%)で示した。

7. グラフの中央線は標準値(±0)を示し、上下の点線は以下の範囲を示している。

乳脂肪分: ±0.05%

無脂乳固形分: 標準法±0.04%、機器分析±0.07%

全乳固形分: 標準法及びマイクロ波法±0.04%

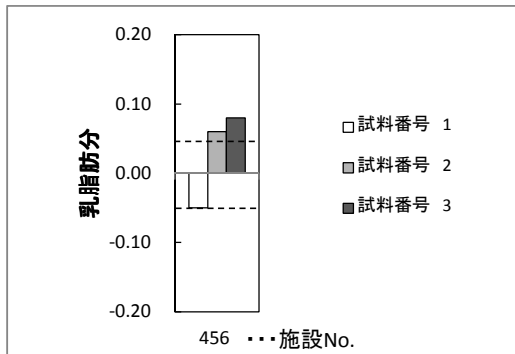
たんぱく質分: ±0.03%

乳糖分: ±0.04%

※グラフにおける上下の点線は全国平均を標準値とした場合の基準線となっております。

生乳検査精度管理認証制度の評価基準ではございませんので、詳細については一般社団法人Jミルクにお問い合わせください。

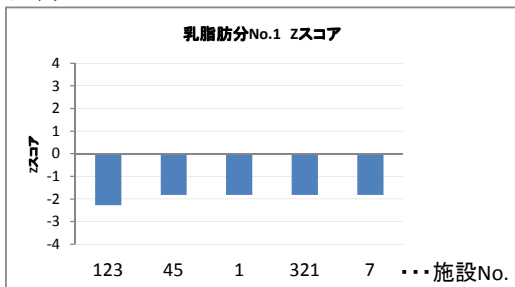
8. 凡例



9. Z-スコア（参考資料④）は各参加施設の報告値、データクリーニング後の平均値及び標準偏差を基に算出した。絶対値が2を超えたものについては表の中で色を付けてある。

10. Z-スコアグラフはZ-スコアを昇順に並べ替え、グラフ化した。

11. 凡例



12. 測定値のばらつき (R) はR管理図（参考資料⑤）の考え方をを用いて算出した。R平均及び管理限界はデータクリーニング後の測定値を用いて算出した。管理限界を超えたものについては表の中で色を付けてある。